

平成27年度 基本方針

平成4年に財団法人日本ボールルームダンス連盟として発足し、22年を経て、平成25年10月に公益認定申請を行い、平成26年4月より公益財団法人日本ボールルームダンス連盟として新たなスタートを切ることになった。

引続きこれまでに培った実績、経験を活かし、わが国のボールルームダンスの普及・振興並びに競技の向上に努め、わが国ダンス界の主導的位置を堅持する。

以下の方針に則り、目的実現に向けて計画、立案を行い諸事業に取り組み実行する。

1. ボールルームダンスが生涯スポーツとして地域社会との関係を深め、多くの国民に親しまれるための普及啓蒙活動を図る。
2. 競技スポーツとして国際競技力の向上を目指し、アスリートの育成を図る。
3. 競技ダンスとして公益財団法人日本体育協会へ加盟し、国民体育大会へダンスが種目として参加できるよう努める。
4. 指導者養成事業の推進と指導員資格制度の充実を図る。
5. 学校教育への普及と、授業化に向けての実践、研究、開発を行うと共に、行政機関及び教育関係機関等との積極的な連携を図る。

以上

【公益目的事業】

第1. 普及・啓発に関する活動

1 J B D F 「はじめてのボールルームダンス」(社交ダンス)指導者養成講習会

- (1) 目的 学校教育、社会教育の場、更には学社連携による教育の場において、全国の多くの児童・生徒がボールルームダンス(社交ダンス)の特徴である音楽と運動の両面から「創造できる楽しさと踊りの深まり」や「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむとともに豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健やかな心身を育むことを目的に、学校・地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、全国に裾野を拡げていくボールルームダンスの指導者の養成を図る。
- (2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 指定 文部科学省「教員免許状更新講習」
- (4) 助成 (独立行政法人) 日本スポーツ振興センター
「toto スポーツ振興くじ助成」
- (5) 後援 文部科学省並びに開催地都道府県及び市町村教育委員会(予定)
- (6) 講師 学校学習委員会委員(文部科学省に申請して承認を得た者)
- (7) 対象 全国の幼・小・中・高等学校教員、特別支援学校教員等ボールルームダンスの指導に関心のある一般の大人
- (8) 募集方法 文部科学省ホームページ、都道府県教育委員会、既教員免許状更新講習会参加教師、学校ダンス関係教師、HP及び機関誌、ダンス関係雑誌、開催地及び開催地近県の小・中・高等学校
- (9) 開催地区・開催都市・開催期日

ア【北海道地区：札幌会場】

- ・第1期開催日：平成27年8月5日(水)・8月6日(木)
- ・第2期開催日：平成27年11月14日(土)・11月15日(日)
- ・会場：タカダンス栗林スタジオ
- ・住所：〒062-0931 北海道札幌市豊平区平岸一条2-5-10
(電話：011-827-7611)

イ【東北地区：福島会場】

- ・第1期開催日：平成27年8月17日(月)・8月18日(火)
- ・第2期開催日：平成27年10月10日(土)・10月11日(日)
- ・会場：清稜山倶楽部(セイリョウザンクラブ)
- ・住所：〒963-1309 福島県郡山市熱海町五丁目18番地(電話：024-984-2811)

ウ【関東・甲信越地区：東京会場】

- ・第1期開催日：平成27年8月2日(日)・8月3日(月)
- ・第2期開催日：平成27年10月31日(土)・11月1日(日)
- ・会場：中央区立総合スポーツセンター

- ・住所：〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-59-1 区立浜町公園内
(電話：03-3666-1501)
- エ【東海・北陸地区：岐阜会場】
 - ・第1期開催日：平成27年8月10日(月)・8月11日(火)
 - ・会場：愛知県産業労働センター
 - ・住所：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38(電話：052-571-6131)
 - ・第2期開催日：平成27年10月17日(土)・10月18日(日)
 - ・会場：昭和スポーツセンター 第2競技場
 - ・住所：〒466-0000 愛知県名古屋市昭和区吹上2丁目6番15号
(電話：052-733-6831)
- オ【近畿・中国・四国地区：大阪会場】
 - ・第1期開催日：平成27年8月23日(日)・8月24日(月)
 - ・第2期開催日：平成27年10月24日(土)・10月25日(日)
 - ・会場：大阪府教育会館 たかつガーデン
 - ・住所：〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7番11号
(電話：06-6768-3911)
- カ【九州・沖縄地区：大分会場】
 - ・第1期開催日：平成27年8月20日(木)・8月21日(金)
 - ・第2期開催日：平成27年11月21日(土)・11月22日(日)
 - ・会場：大分県社会教育総合センター
 - ・住所：〒874-0903 大分県別府市野口原3030-1(電話：0977-22-7763)
- (10) 内 容
 - ア 講義主題 (ア)「生涯スポーツと学校体育そしてダンス」
(イ)「これからの学校学習とボールルームダンス」
 - イ 実技指導 ダンス技術と指導法、模擬授業指導法、学習のまとめとしての発表会(ダンスパーティー)指導法、実技試験、授業の評価
- (11) 期待される成果
 - ア ダンスの裾野が拡がり普及・啓発につながる。
 - イ 児童・生徒の人との係わりや健やかな体と豊かな心を育むなど発達課題の達成につながる。
 - ウ 新学習指導要領により、学校授業でのダンスの採り上げが加速化される。
 - エ 公教育である学校教育に採りあげられることは国民文化としての最短距離になる。
- (12) 特記事項
 - ア 平成21年から文部科学省「教員免許状更新講習」に指定されて開催し、7年目となる。
 - イ 平成24年度から(独法)日本スポーツ振興センターの「totoスポーツ振興くじ」の助成事業として開催し、4年目となる。

2 学校学習委員会事業

- (1) 目的 文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成 24 年 4 月から「ダンスと武道」が男女共に必修となり全面実施になる。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究・開発を行いその積み重ねの成果を学校教員、一般及びボールルームダンス指導者に伝達し普及・啓発に努める。
- (2) 対象 全国の小・中・高等学校の指定研究協力校の学校教員及び児童・生徒
- (3) 研究内容 全国の小・中・高等学校の中から研究協力校を指定し、学校学習におけるボールルームダンスの授業化のためのダンス技術、指導法及び学習教材の研究・開発を行う。
- (4) 研究期間 通年
- (5) 研究成果 学校現場で活用できる教材の研究及び積み重ねの成果を公表する。
 ア 「指導の手引書（総論）」の研究・作成
 イ 「実技指導解説書（8 種目）」の研究・作成
 ウ 「実技種目解説」DVD（映像編）の研究・作成
 エ 「学校学習指導教材音楽集」CD の研究・作成
 オ 「ボールルームダンス授業化研究事例集」の研究・作成
 カ 学校学習プロモーション資料をHPへのアップ
 キ その他学校学習教材等の研究・開発
- (6) 都道府県連盟学校学習委員
 47 都道府県連盟に学校学習委員会を設け、各都道府県教育委員会及び学校等と連携を図り、地域の学校を通じてボールルームダンスの普及・啓発に努める。
- (7) 期待される成果
 ア 指導技術や指導方法を整理し体系化することができる。
 イ 研究開発した成果を指導者養成講習会等を通じて指導、伝達できる。
 ウ 学校学習プロモーション資料と題してHPにアップし、広く頒布することにより全国の学校教諭の要望に応えることができる。
 エ 児童・生徒にボールルームダンスの楽しさや人との係わりを直接的に伝えることができる。
 オ 都道府県連盟学校学習委員の普及・啓発活動により、地域における学校学習支援が活性化することが期待できる。

3 行政・学校・団体・産業界等との連携・協力事業

- (1) 目的 学校教員、児童・生徒及び一般を対象に、ボールルームダンスを体験してもらうため、実施希望団体等と連携を図り、ボールルームダンスの普及・啓発に努める。
- (2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 講師 学校学習委員会委員
- (4) 対象 全国の各団体の老若男女
- (5) 募集方法 HP及び機関誌、学校ダンス関係教師、ダンス関係マガジン誌、行政、学校、団体、産業界等への広報
- (6) 開催期日 通年
- (7) 会場 実施する行政、学校、団体、産業界等の会場
- (8) 内容 ダンス技術及び指導法等の講習
- (9) 期待される成果
 - ア 体験を通して、ボールルームダンスの楽しさを伝え裾野の拡がりになる。
 - イ 国民文化としてのボールルームダンスの認知度を高める。
 - ウ 社会貢献の推進につながる。

4 学校キャラバン隊

- (1) 目的 ボールルームダンスを生涯スポーツの基礎として、学校学習における普及・啓発を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「コミュニケーション」、「マナー・エチケット」が総合された世界共通の文化であるボールルームダンスの実際を見学・体験学習を通して学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレータ及び指導者を派遣し、模範演技と体験講習をする。さらに、ジュニアの開発へのための裾野を拓げる機会とする。
- (2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 後援 文部科学省
- (4) 講師 学校学習委員会委員
- (5) デモンストレーター
 - 大村淳毅・和田 恵組、市川 学・大島寿子組、山本武志・木嶋友美組
- (6) 対象 全国の小・中・高等学校の児童・生徒及び教師
- (7) 募集方法 HP及び機関誌、全国のダンス関係学校教師、ダンス関係雑誌
- (8) 開催期日
 - ア 平成 27 年 5 月～7 月（募集期間）
 - イ 平成 27 年 7 月～8 月（派遣審査期間）
 - ウ 平成 27 年 9 月～平成 28 年 1 月（派遣期間）
- (9) 会場 派遣する学校の体育館
- (10) 内容 模範演技、ダンス講習による体験学習
- (11) 期待される成果
 - ア 学校キャラバン隊を通して児童・生徒のボールルームダンス

への関心が高められ、ボールルームダンスに取り組む児童・生徒が増え裾野が広がる。

イ 将来、ジュニアを開発・発掘するきっかけ作りになる。

ウ ボールルームダンスに対して学校教員の理解が深められる。

エ 学校が授業へ採り上げるきっかけ作りとなる。

5 サマーセミナー

(1) 目的 指導者を育成するための講師・試験委員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指すことを目的とする。

(2) 対象 会員・不特定多数の一般の者

(3) 募集方法 会報誌とホームページに公示し参加者を募る。

(4) 開催期日 平成27年度は7月7日(火)・8日(水)を予定。

(5) 会場 ティアラこうとう「江東公会堂」(東京都江東区住吉 2-28-36)

(6) 内容 全日本チャンピオンによる講習、新しいサマーセミナー・バリエーションの発表、今年度の定期研修会のテーマの講習、講師・試験委員のための講習等を行う。

(7) 期待される成果

年に一度本部で開催し、チャンピオンから最新の踊り方や、本部講師陣による講習技術及び認定試験時における講習技術及び採点判断の方法等の講習を受けることにより、ボールルームダンス技術の全国均一化を目指している。各県連盟・協会において年に1回開催される定期研修会には過去に本部から講師を派遣していたが、現在はその地域の指導者が講師を勤めるようになっている。

(8) 特記事項 平成21年度から平成25年度までは、スポーツ振興基金(独立行政法人日本スポーツ振興センター)の助成金を受けて実施した。

6 定期研修会

(1) 目的 アマチュア地域指導員及びプロ商業インストラクターの会員に年に1回最新のダンス技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指すことを目的とする。

(2) 対象 会員・不特定多数の一般の者

(3) 募集方法 ホームページ、会員宛開催通知

(4) 開催期日 各県にて年に1度開催

(5) 会場 公共施設を使用する。

(6) 内容 該当年度に行われたサマーセミナーの講習を基に行われる。

(7) 期待される成果

日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、全国的に技術力の地域格差を解消できる。

7 審査員研修会

- (1) 目的 認定審査員に年に1回審査観点についての講習を行い、日本全国の審査員の審査技術の向上と、一般の者がわかり易い審査方法の徹底を目指す。
- (2) 対象 認定審査員
- (3) 募集方法 会員宛開催通知
- (4) 開催期日 各広域団体にて年に1度開催
- (5) 会場 公共施設を使用する。
- (6) 内容 審査方法、採点方法等について審査委員会の決定を基に行われる。
- (7) 期待される成果
日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、審査基準の地域格差の解消を図る。

8 ジュニアダンス開発事業

- (1) 目的 青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの若年層拡大を目的として全国各地にジュニア・スクールを展開し、その開校教室に対し支援や助言を行うとともに、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 全国の未就学児・小学生・中学生
- (3) 募集方法 ホームページによる広報等を行う。
- (4) 開催期日 各会場により異なる。
- (5) 会場 全国の各教室や公民館等で開催。(現在71教室)
- (6) 内容 ジュニア・スクール開校教室は、本法人指定のカリキュラム(原則、1回につき60分～90分、13回を1クールとし年間で3クール)に沿ってレッスンをを行う。本部は、出席カードとシールを無料で配布するとともに、5名以上の生徒を有するジュニア・スクールに対し、交通費補助金の支援を行う。
- (7) 期待される成果
青少年の技術力の向上と健全育成に貢献するとともに、各地区でのボールルームダンスの活性化及び若年層拡大に寄与する。
- (8) 特記事項
ア ジュニア・スクールを開校するための「ジュニア・スクール指導員講習会」の実施。
イ 日頃の成果を試す機会及び目標や達成感を与えることを目的としたバッジ・テストの実施。
ウ 「ダンスサミット in Japan (創作ダンス・外国のフォークダンス・日本の民謡・リズムダンス・社交ダンスの5部門に区分されたコンクール)」への参加・協力。(主催：Dance

Summit in Japan 運営協議会)
エ ジュニア層を対象とした講習会の開催（各ジュニア・スクールにて開催）。

9 ダンスウィーク「ダンスの日」事業

- (1) 目的 11月29日を「ダンスの日」と制定し、この日を中心に子どもから大人までを対象としたさまざまなイベントを全国各地で開催することにより、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。各加盟団体及び認定教室等と連携し、全国展開を図りながら、多くの一般の人にダンスを楽しんでもらう機会をつくることにより、ボールルームダンスの認知度を向上させ、広く国民に浸透させると共に、生涯スポーツとして根付かせることに寄与する。
- (2) 参加対象 ダンス愛好者及びダンスを経験したことのない一般の老若男女。
- (3) 募集方法 ホームページ及び機関誌等。また、ポスターやリーフレットを作成し配布する。
- (4) 開催期日 原則、11月29日を中心に前後1週間での開催とする。（各加盟団体及び認定教室等の実情に合わせての開催も可能）
- (5) 会場 各加盟団体及び認定教室等が定める。（公共施設及び各ダンス教室等）
- (6) 内容 各加盟団体及び認定教室等が定める。（ダンスタイム、ダンス講習、模範演技、デモンストレーション等）
- (7) 期待される成果
全国各地でイベントを開催することにより、ボールルームダンスの認知度の向上及び、生涯スポーツの推進に寄与する。
- (8) 特記事項 「ダンスの日」制定の由来について
明治16年（1883年）11月29日に「鹿鳴館」が開館され、舞踏会が行われた。本法人は、日本におけるボールルームダンスの歴史を象徴するこの日を2004年に「ダンスの日」と制定した。

10 全国地域協会促進事業

- (1) 目的 生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及を目的として、各都道府県地域協会がダンスを経験したことのない一般の人達も体験・参加できるようなイベント等を開催し、すそ野を広げるとともに地域協会の活性化を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 参加対象 イベント等に参加する対象は、一般ダンス愛好者及びダンスを経験したことのない一般の老若男女。
- (3) 開催期日 各都道府県地域協会が定める。

- (4) 会 場 各都道府県地域協会が定める。
- (5) 内 容 各都道府県地域協会より、ダンスを経験したことのない一般の人達も気軽に体験できるような一般参加型のイベント等の事業を応募してもらい、審査を通った事業に対し、助成費として支援を行う。
- (6) 応募方法 別途定める企画書・予算書等を本部へ提出する。
- (7) 助成対象 支援の対象は、本法人が定める審査基準による。
- (8) 終了報告 各都道府県地域協会は、事業終了後、遅滞なく終了報告書・決算書等を本部へ提出する。
- (9) 期待される成果
各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、地域協会の活性化を図るとともに、各地区における生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進及び底辺拡大に寄与する。

1 1 東日本復興支援事業

- (1) 目 的 平成 23 年 3 月に発生した「東日本大震災」及び「福島原発事故」によって甚大な被害を受けた被災地の復興を、ボールルームダンスを通じて応援することを目的とする。
- (2) 対 象 特に被害の大きかった岩手・宮城・福島 3 県の県民と県ダンス関係者をはじめとする被災地の方々。
- (3) 内 容
 - ア 岩手・宮城・福島各県の支局をサポートして、各県年 1 回程度の復興支援イベントを開催する。
 - イ 復興支援活動を行う組織と連携して、ダンスを通じた復興支援活動を行う。
 - ウ イベントの参加費は無料あるいは低料金とし、その収益は原則として復興の義援金へ寄付する。
 - エ イベントに参加するデモンストレーター及びアテンダントについて各加盟団体、プロ選手会等に協力を呼びかけ、協力者については可能な範囲でサポートする。
- (4) 期待される効果
被災地の人々に、ダンスを踊りデモを観るなどをし、軽度の運動、ストレスの解消など心身の健康保持に役立ててもらおう。また、イベントを実施することで被災地ダンス界の結束と復興への意欲を高めてもらおう。さらに、ボランティアとして参加するプロや選手にとっては被災地の実情を知り、ダンスを通して役に立つという貴重な体験となる。

第 2. 相談・助言に関する活動

1 優良教室認定事業

- (1) 目的 国家公安委員会の認定審査を所持し、本法人の定めた自主規制案に則ったダンス教室に認定を与え、営業内容等の助言をし、健全な営業できるよう目指すことを目的とする。
- (2) 対象 国家公安委員会の認定資格所持者がいる教室。
- (3) 募集方法 ホームページに掲載し、広く一般社会に公表するとともに、本法人機関誌にも掲載する。さらに、認定登録教室の登録及び運営の適正化等に関する規程を載せ不特定多数の者に周知している。
- (4) 期待される成果
安心で安全なダンス教室を認定し、一般の方々が安心してボールルームダンスのレッスンが受けられる。

第3. 調査・資料収集に関する活動

1 国際渉外事業

- (1) 目的 ダンスをめぐる国際問題や国際競技会等の情報収集、調査、研究を行う。
- (2) 内容 審査員派遣、国際会議への出席、国際関係の情報収集を行う。B D F I (Ballroom Dancers' Federation International)の会員募集及び世界のダンス事情等の把握に努める。近年、世界ではプロフェッショナルとアマチュアの対立が顕著になってきており、引き続き本法人独自の情報収集及び調査を行う。国際委員会、B D F I 及び本法人に団体加盟しているボールルームダンスジャパン (B D J) の各担当役員と事国際委員会との協力体制を取り、正確な情報の把握と各組織との相互理解に努める。

2 機関誌作成事業

- (1) 目的 本法人の機関誌「ダンスマイライフ」として、一般社会へボールルームダンスの魅力と本法人の活動を広報し、本法人が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。また、本誌は本法人と会員をつなぐ媒体として27年度の諸事業に関する情報を全国の会員へ伝え、スムーズな事業運営につなげる。
- (2) 配布対象 印刷物として配布するほか、インターネットの本法人ホームページ上で公開する。印刷物としての配布先は本法人会員、全国の教育委員会、またダンス競技会の会場、ダンスショップ等で配布する。
- (3) 発行回数と発行部数
年間2回発行。発行部数は上記配布に必要な各号15,000部(非

売品)とする。

- (4) 内 容 ア ダンスの楽しさ・魅力を紹介する読み物等の記事。
イ 様々なダンス普及イベント、主要競技大会等の開催情報とその結果報告。
ウ ボールルームダンスの技術や指導力の向上に役立つ企画記事。
エ 本法人の事業に関する各種の情報。

(5) 期待される成果

一般社会のボールルームダンスへの興味を喚起し、本法人の活動への認知が進む。平成27年度の活動計画に対して、会員の理解が深まり協力体制が強化され、各イベントへの参加者の増加につながる。

3 情報システム運営事業

- (1) 目 的 ボールルームダンスの魅力と本法人の多彩な活動を本法人会員を含むダンス愛好者と未来のダンス愛好者へ広報する。機関誌「ダンスマイライフ」を公開するとともに、「これからダンスを始める、または始めたい人」に向けた情報を増やす。また、事業計画や収支計算報告などの情報公開の窓口として引き続き活用する。
- (2) 対象、閲覧者
本法人会員を含むダンス愛好者と、ダンスに興味を持つ多様な年代の人々。
- (3) 内 容 ア 本法人の設立目的や組織の概要（日本語と英語）。
イ 各委員会の事業、ダンス競技大会の実施要項と結果報告。
ウ 学校学習委員会の事業（教員免許更新講習、学校キャラバン隊など、学校教育へのダンス普及の取り組みや「ダンスの日」記念イベントの開催情報等）。
エ 全国の本法人認可ダンススクールの一覧情報。
オ ダンス教材・音楽CDのネット販売。
カ 東日本復興支援の活動情報。
キ 機関誌「ダンスマイライフ」の掲載とダンス入門等の情報。

(4) 期待される成果

平成27年度の活動内容を会員はじめ一般のダンス愛好者にいち早く周知し、各イベントへの参加者の増加を促す。ダンスに興味のある人に様々な情報を提供し、若者層にもボールルームダンスの魅力をアピールすることで、ダンス愛好者の掘り起こしを進める。

4 資料室運営事業

- (1) 目的 ボールルームダンスとそれに関連して音楽やスポーツ科学、身体に関する様々な書物や映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。
- (2) 対象、閲覧要項
本法人会員及び一般。利用は無料、閲覧のみで貸し出しは原則、不可。閲覧時間：平日 10 時～18 時。土・日・祝日は休み。
- (3) 収蔵内容
ア 昭和初期から戦前にかけて出版された英国と日本のダンス技術書。
イ 戦後から現在までに日本や英国で出版されたダンス技術書。
ウ 戦前、戦後に出されたダンス雑誌と現在も出されているダンス雑誌。
エ ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、ダンス関連書籍。
オ 音楽やスポーツ科学、学校体育に関する書籍。
カ 映像、写真等の資料。
主な所蔵は書籍約 500 冊、雑誌約 1450 冊。
- (4) 期待される成果
ボールルームダンス関係の著作をまとめて所蔵している図書館は少ないため、卒論等のために資料調べをする人に貴重な存在となっている。また、他のダンス組織で資料室を設置しているところはなく、関係資料を本資料室への集約することは日本のダンス界にとって共有の財産となる。

第 4. 資格付与に関する活動

1 プロダンスインストラクター事業

- (1) 目的 国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に 2 回国家公安委員会指導の下全国 9 ブロックにおいて開催する。
- (2) 対象 プロ・ダンス・インストラクター資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の者。
- (3) 募集方法 ホームページ及び一般ダンス雑誌にて公示を行い、不特定多数の一般から受験者を募る。
- (4) 開催期日 年に 2 回 4 月の第 4 金曜日と 10 月の第 4 金曜日に行われている。平成 27 年度は第 33 回が 4 月 24 日、第 34 回の 10 月が 10 月 23 日の開催となる。
- (5) 会場 公共施設を使用し、全国 9 ブロックで行う。
- (6) 内容 認定講習と考査は、講習会と試験からなり、試験は実技試験と

筆記試験を行う。風俗営業法からの除外指定を受けており、筆記試験はダンス教室の自主規制・憲法・一般常識・エチケット及びマナーの項目となっている。本法人の試験管理委員会から派遣された委員の下で、全国同時に開催している。

認定試験は、認定講習の集合講習を受講せず、受験する者を対象とし認定講習の考査と同時に行う。

(7) 期待される成果

現在でもボールルームダンスの教室を経営するためには、風俗営業法の許可が必要である。しかし、プロ・ダンス・インストラクター試験に合格することで、風俗営業法からの適用の除外が受けられ、又ダンス技術や教授法ばかりでなく、本法人の教室経営における自主規制や遵法精神も含め、周知徹底することができる。

2 資格認定事業

(1) 目的 不特定多数の一般の者にボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。

(2) 対象 アマチュアの指導者である地域指導員5級～1級の者を対象とする。

(3) 募集方法 試験開催情報はホームページにアップし、周知する。

(4) 開催期日 全国各地において、それぞれ年に1回以上の開催を予定する。

(5) 会場 公共施設を使用。

(6) 内容 各都道府県連盟が開催し、講習を行ってから約1ヵ月後に試験を行う。

5級は不特定多数の一般から指導者になりたい者を募集し、級が上がるごとに高度な内容の試験になる。

1級の資格試験については、年に1度本法人において実施する。

(7) 期待される成果

優秀な指導者を養成し、日本のボールルームダンス技術の向上を図る。

第5. 競技会に関する活動

1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎

(1) 目的 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認を受け、青少年の競技力向上及び心身の健全育成の推進並びに、スポーツの振興及び地域の活性化に寄与する。

(2) 対象 未就学児・小学生・中学生・高校生

(3) 募集方法 各広域加盟団体・都府県加盟団体・認定教室・ジュニア・スクー

ル開講教室、各都道府県教育委員会義務教育担当課及び高等学校担当課等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。

- (4) 助 成 スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）認定スポーツ大会。
- (5) 開催期日 平成27年8月1日（土）・2日（日）
- (6) 会 場 中央区立総合スポーツセンター
- (7) 内 容 未就学の部・小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分け、男女カップル及び女子同士カップルの2部門において競技を行う。
- (8) 期待される成果
青少年の競技力の向上と心身の健全育成並びにアスリート育成に寄与すると共に、国内でのボールルームダンスの認知及び底辺拡大を推進することにつながる。
- (9) 特記事項 一般財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり事業」の支援及び東京都中央区の協力を得て実施する。

2 ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル

- (1) 目 的 ボールルームダンスの楽しさを理解してもらうとともに、青少年の心身の健全な発達に資することを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対 象 小学生・中学生・高校生
- (3) 募集方法 各加盟団体・認定教室・ジュニア・スクール開校教室等に大会要項を送付する。なお、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成27年8月1日（土）
- (5) 会 場 中央区立総合スポーツセンター
- (6) 内 容 小学生低学年の部、小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生、高校生の部に分け、ソロで踊るシャドーダンスで競技を行う。
- (7) 期待される成果
青少年の技術力の向上と健全育成に貢献するとともに、ボールルームダンスの若年層の拡大及び普及に寄与する。
- (8) 特記事項 ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバルの一環事業として、「バッジ・テスト」および講習会を同時開催する。

3 日本インターナショナルダンス選手権大会

- (1) 目 的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、健全なる室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 J B D F 登録選手、外国人選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者

- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会・ジュニアスクール開講教室、他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成27年6月13日(土)・14日(日)
- (5) 会場 日本武道館大ホール
- (6) 内容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘して行う国際競技会であり、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グランドシニア選手権、全日本シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行う。
- (7) 期待される成果
国際競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成及び国際親善に役立つと共に、国内のボールルームダンスの普及並びに啓発に寄与する。
- (8) 特記事項 伝統と権威のある国際的な大会であり、国内最高峰の競技会として定着している。

4 スーパージャパンカップダンス

全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、車いすダンス競技者、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会・ジュニアスクール開講教室等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成28年3月5日(土)・6日(日)
- (5) 会場 幕張イベントホール(幕張メッセ)
- (6) 内容 全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、プロ・ライジングスター競技会、スーパーシニア競技会、グランドシニア選手権、全日本ジュニア選手権、全日本ジュブナイル選手権、車いすダンス東京グランプリを行う。
- (7) 期待される成果
競技会を通してボールルームダンスの華麗さ優雅さを伝えると共に、ボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与することにつながる。
- (8) 特記事項 全日本セグエ選手権は通常の競技会とは異なり、ドラマチックで独創的なダンスで、見る側にとっても十分に楽しむことのできる大会である。

5 全日本ダンス選手権大会

全日本アマチュアダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えチャンピオンを決定し、併せて室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成27年10月24日(土)・25(日)
- (5) 会場 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
- (6) 内容 プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グランドシニア選手権、シニア選手権等を行う。
- (7) 期待される成果
競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成を推進すると共に、各総局を持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化と普及促進に寄与することにつながる。
国内のボールルームダンスの普及及び振興に寄与する。
- (8) 特記事項 昭和26年から行われており、最も歴史のある競技会である。
プロフェッショナル部門とアマチュア部門には、文部科学大臣杯が授与される。
中部日本ボールルームダンス連盟及び静岡県ボールルームダンス連盟と連携しながら実施する。
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ(toto)の助成を受け、ドーピング検査を実施する。

6 全日本10ダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、健全なる室内スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 平成27年9月13日(日)
- (5) 会場 後楽園ホール
- (6) 内容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行う。
- (7) 期待される成果
競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育

成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与する。

- (8) 特記事項 過去11年間、静岡市において開催してきたが、本年度より会場を移しての開催となる。

★ 本年度休止事業（**予算の都合による**）

- ◎ ナショナルチーム選手育成事業（ナショナルチーム強化講習会）
- ◎ コンGRES
- ◎ スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

【収益事業等】

1 出版物の刊行・販売に関する活動

- (1) 目的 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作
- (2) 対象 会員及び正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の者
- (3) 内容 試験問題・試験問題集・教本・教材DVD等
- (4) 期待される成果
ボールルームダンスを広めるとともに、優秀な指導者を育成する。

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1 海外で開催される競技会のチケットの販売に関する活動

- (1) 目的 本法人の会員の便宜を図ることを目的とする。
- (2) 内容 チケット購入のための申し込みやそれに係る手続きを一括して行う。会員が確実に海外競技会のチケットを入手できるよう、必要な事務処理を行う。

2 外国人招聘手続代行に関する活動

- (1) 目的 世界的に活躍している選手や審査員を本法人の事業に招聘することにより、事業のさらなる発展を目的とする。
- (2) 内容 本法人の事業に関わる外国人のビザ申請に係る手続きを行い、日本国内滞在中の身元保証人となる。

3 商業スポーツ施設インストラクター認定、講師・試験委員認定、採点管理者資格認定に関する活動

- (1) 目的 一般の者にボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。

- (2) 対 象 ア 商業会員に商業スポーツ施設インストラクター5～1級の講習及び認定試験を行う。
 イ 正会員に講師3級～1級・試験委員3～1級の講習及び試験を開催し認定する。
 ウ 会員に採点管理者資格1次又は2次の試験を開催し、資格を認定する。
- (3) 募集方法 試験開催情報は常にホームページに掲載し、会員及び不特定多数の一般の方に周知する。
- (4) 開催期日 全国各地において、それぞれ年に1回以上の開催を予定している。
- (5) 会 場 公共施設を使用して行う。
- (6) 内 容 ア プロ・ダンス・インストラクター資格所持者を対象に各県プロ・ダンス・インストラクター協会が開催し、講習を行い約1ヵ月後に試験を行う。級が上がるごとに高度な内容の試験になる。(実技試験と筆記試験を行う。)
 イ 講師・試験委員はそれぞれ3～1級の資格があり講習と面接試験を行う。
 ウ 採点管理試験は初級と上級があり、講習を行ってから約1ヵ月後に筆記試験を行う。
 ※1級の資格試験については、年に1度本法人において実施することになっている。
- (7) 期待される成果
 優秀な指導者を養成し、ボールルームダンス技術の向上を目指す。

平成27年度
事業計画書(案)

公益財団法人日本ボールルームダンス連盟

